

「わた SHIGA 輝く障スポ」リハーサル大会の課題と対応等について

■ 開催状況

日時：5/24（土）～5/25（日）

場所：県内 15 会場

参加者：約 7,800 人

（内訳）選手団 約 1,900 人

関係者 約 3,700 人

観覧者 約 2,200 人

競技名	競技会場
陸上競技	平和堂HATOスタジアム
水泳	インフロニア草津アクアティクスセンター
アーチェリー	愛荘町スポーツセンター
卓球	野洲市総合体育館
フライングディスク	甲賀市水口スポーツの森
ボッチャ	甲賀市水口体育館
ボウリング	ラピュタボウル彦根
バスケットボール	滋賀ダイハツアリーナ
車いすバスケットボール	滋賀ダイハツアリーナ
ソフトボール	高島市今津総合運動公園
グランドソフトボール	東近江市総合運動公園
バレーボール	近江八幡市立運動公園体育館
	湖南市総合体育館
	草津市立総合体育館
サッカー	野洲川歴史公園サッカー場
フットソフトボール	県民共済ドーム長浜

■ 主な課題および対応等

1. 大会実施判断および情報提供体制

□悪天候により会場の状況確認に時間を要し、実施判断の情報提供が想定よりも遅れる事態が生じた。

⇒実施判断にかかるタイムスケジュール再検討および徹底、関係機関への連絡手段見直し等。

□競技日程の変更等の情報が、選手・関係者・ボランティア等に行き渡らないことがあった。

⇒情報周知の役割分担の明確化と伝達方法の再検討。



水とり作業

2. 県職員等スタッフの障害者理解の向上

□カームダウンスペース等の設備について、理解不足のスタッフが見受けられた。

⇒マニュアルの確認等により障害のある方への対応や理解の向上を図る。



カームダウンスペース

3. 参加者等がより安全に過ごせる会場づくり

□異なる障害のある選手の多数の来場で想定以上の混雑や動線の重なりが発生。

□受付や配慮設備の場所が分かりにくい、設備の使いにくさ等の意見。

□受付や待機場所の一部で、雨を避けられないなどの課題があった。

⇒参加者の意見を踏まえ、動線計画等の変更の必要性や伝達方法の改善を検討。